

2023年度海外事業概況調査

< 調査の目的 >

- ① 会員企業（＝日系自動車部品メーカー）の
世界経済への貢献度を示す統計資料の作成
- ② 会員企業の海外事業展開における
共通課題抽出と部工会事業への反映
- ③ 部品業界全般の海外事業動向や一般的な質問は公表資料で対応し
個社への一般質問を削減

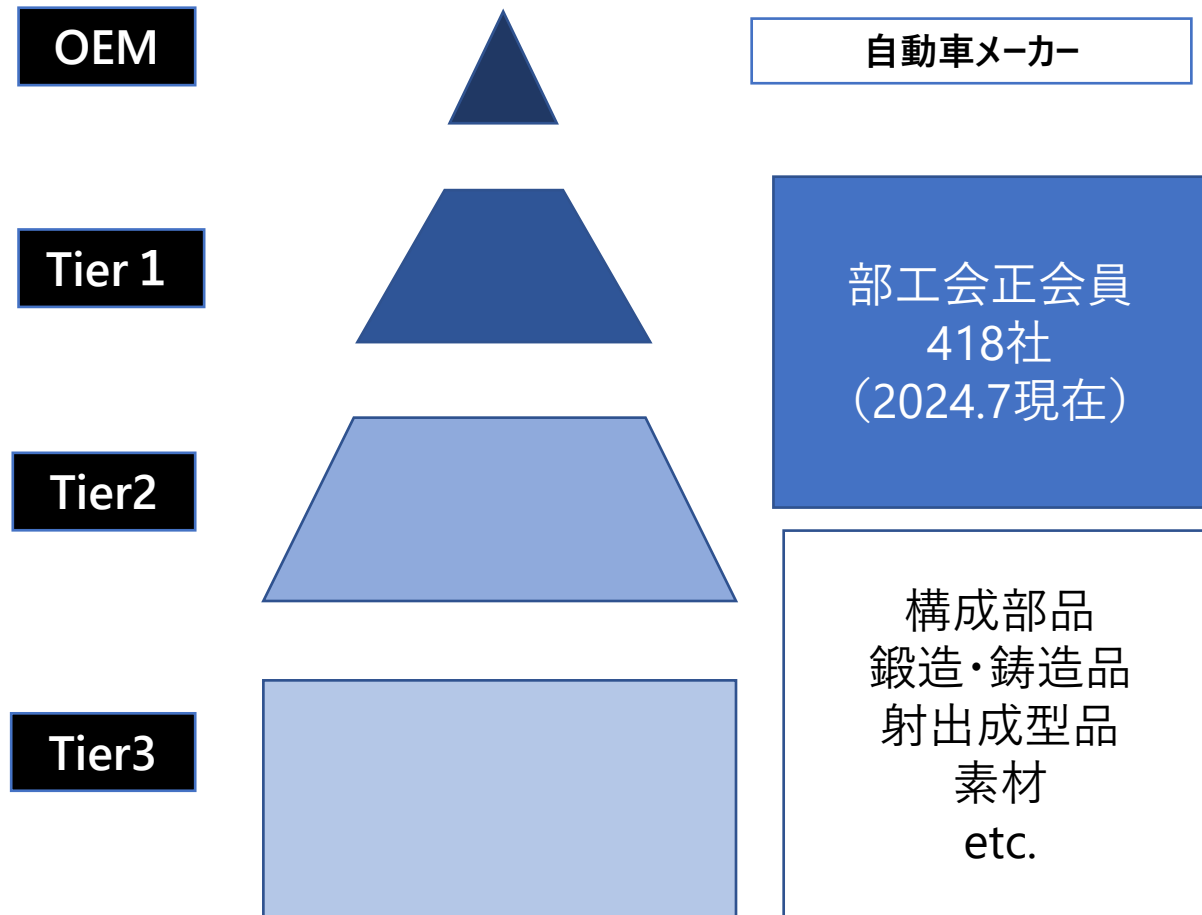
一般社団法人 日本自動車部品工業会 国際委員会

2025年3月

1. 本年度の調査について
2. 本年度調査結果のポイント
3. 日系自動車メーカー生産台数推移
4. 部工会会員の海外法人数推移
5. 部工会会員の海外生産機能法人
 - (1) 生産機能法人数推移
 - (2) 雇用者数推移
 - (3) 売上高推移
 - (4) 売り先別比率
 - (5) 単年度黒字法人比率、採算状況「感」
 - (6) 現地調達率
6. 本年度のトピックス調査
 - 経済安全保障への対応

1. 本年度の調査について

本調査は、海外に法人を持つ正会員266社を対象に実施。前回は上回る208社から回答いただいた。



| | | |
|--------------------------|--|----------------|
| 調査対象期間 | 2023年 会計年度 | 2022年 会計年度 |
| 調査時期 | 2024年 7~11月 | 2023年 8~11月 |
| 対象企業数 海外に法人を持つ 正会員 | 266社 中小企業 94社 中堅企業 122社 大企業 50社 | 266社 |
| 回答率 | 回答企業208社 78.2% | 77.0% |

2. 本年度調査結果のポイント

● 日系自動車メーカーの海外生産台数

- 2023年の日系自動車メーカーの海外生産台数は、1,700万台と横ばい

● 部工会会員の海外展開状況（海外法人数の動向）

- 海外法人数は2,345で、4年連続して減少（前年比▲172）

● 海外生産機能法人の動向

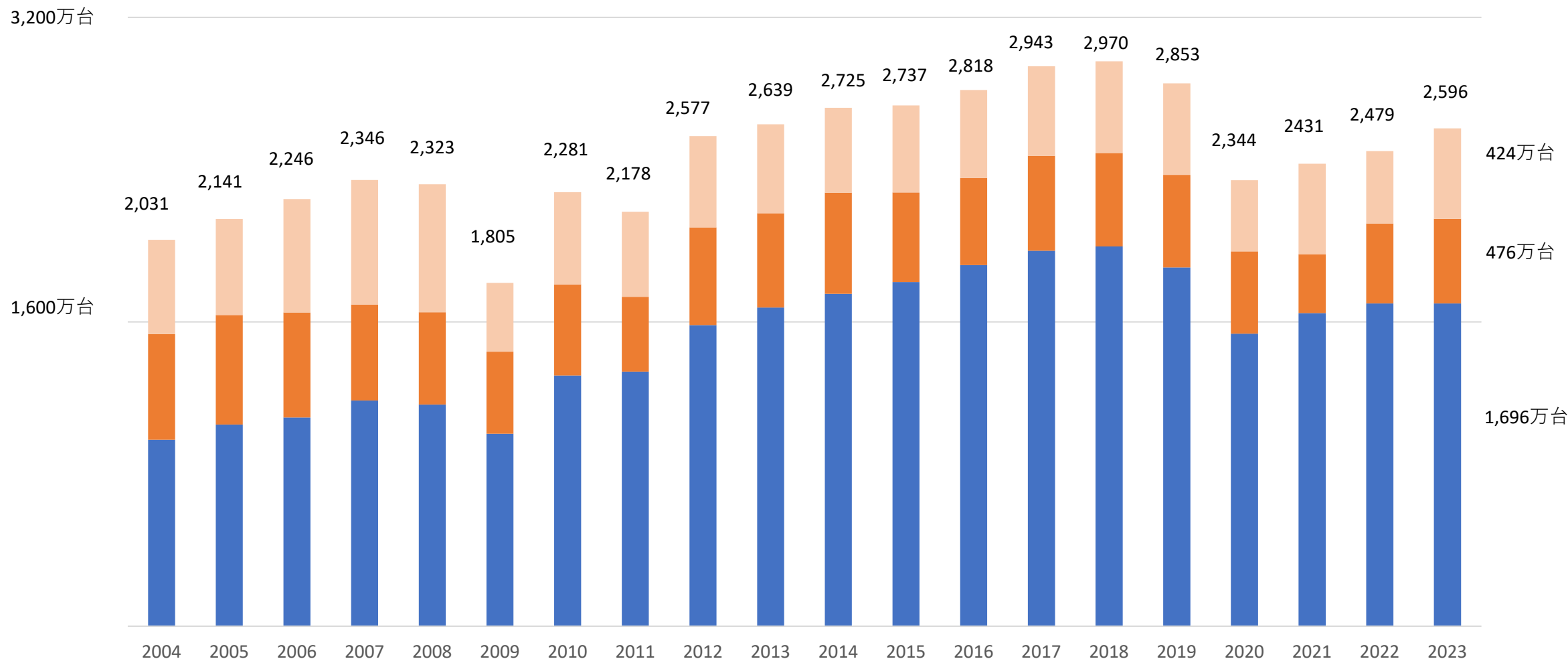
- 生産機能法人数は、5年連続で減少し1,804（前年比▲130）
- 雇用者数は、前年から横ばいで133万人
- 売上高は、3年連続で過去最高を更新し24.1兆円。ただし、前年比+2兆円のうち、為替の影響が1.6兆円
- 黒字法人比率は、3年連続で増加。アセアン、インド、南米で良化
- 現地調達率は、70～80%の水準で推移

● トピックス調査

- 経済安全保障への対応について調査
- 米中事業の切り離しは、「既に実施」「これから実施」が増加

3. 日系自動車メーカー生産台数

国内販売 輸出 日本国内の生産台数 海外生産台数



資料：日本自動車工業会

- 3年連続で増加。ただし、海外生産台数はほぼ横ばい。

4. 部工会会員の海外法人数推移

| | 北米 | | 欧州 | | 中国 | | アセアン | | インド | | その他 | | 合計 | |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| | 法人数 | 対前年 | 法人数 | 対前年 | 法人数 | 対前年 | 法人数 | 対前年 | 法人数 | 対前年 | 法人数 | 対前年 | 法人数 | 対前年 |
| 2023年 | 468 | ▲34 | 282 | ▲18 | 575 | ▲43 | 636 | ▲45 | 119 | ▲12 | 265 | ▲20 | 2,345 | ▲172 |
| 2022年 | 502 | ▲19 | 300 | ▲41 | 618 | ▲24 | 681 | ▲29 | 131 | ▲7 | 285 | ▲9 | 2,517 | ▲129 |

機能数の変化 (注：1 法人に対し複数機能の回答可)

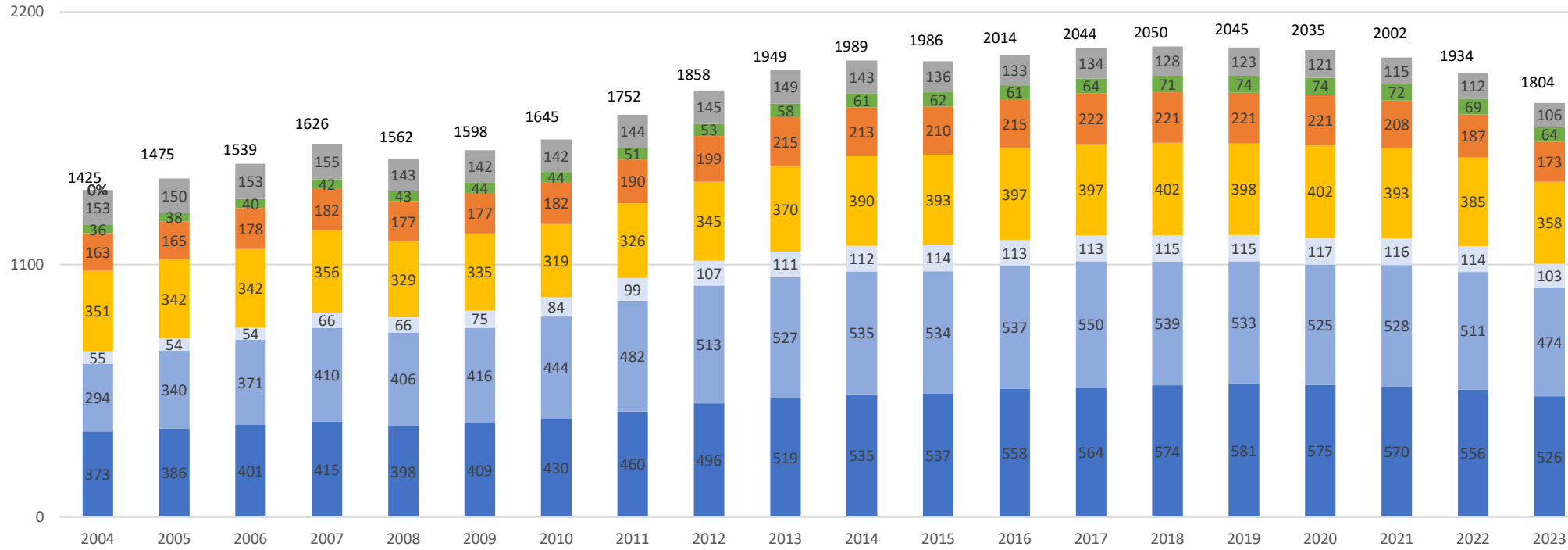
| 機能 (複数回答可) | 北米 | | 欧州 | | 中国 | | アセアン | | インド | | その他 | | 全体 | |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 |
| 生産 | 358 | 385 | 173 | 187 | 474 | 511 | 526 | 556 | 103 | 114 | 170 | 181 | 1,804 | 1,934 |
| 販売 | 132 | 134 | 115 | 115 | 159 | 161 | 191 | 194 | 38 | 42 | 122 | 130 | 757 | 776 |
| 管理統括 | 44 | 44 | 42 | 43 | 36 | 35 | 38 | 36 | 7 | 7 | 11 | 13 | 178 | 178 |
| 設計開発 | 33 | 35 | 44 | 50 | 51 | 56 | 27 | 31 | 12 | 12 | 15 | 18 | 182 | 201 |
| マーケティング | 20 | 16 | 17 | 14 | 21 | 19 | 14 | 12 | 7 | 6 | 9 | 9 | 88 | 76 |
| その他 | 14 | 11 | 11 | 14 | 13 | 14 | 7 | 8 | 0 | 0 | 12 | 23 | 57 | 70 |
| 計 | 601 | 625 | 402 | 423 | 754 | 796 | 803 | 837 | 167 | 181 | 339 | 374 | 3,066 | 3,235 |

| | 法人数 | | 法人数 x 機能数 | | |
|---------|-------|-------|-----------|-------|------|
| | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 | 対前回比 |
| 1 機能の法人 | 1,831 | 2,006 | 1,831 | 2,006 | 91% |
| 2 機能の法人 | 367 | 369 | 734 | 738 | 99% |
| 3 機能の法人 | 93 | 91 | 279 | 273 | 102% |
| 4 機能の法人 | 38 | 37 | 152 | 148 | 103% |
| 5 機能の法人 | 14 | 14 | 70 | 70 | 100% |
| 機能未記入 | 2 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合計 | 2,345 | 2,517 | 3,066 | 3,235 | 95% |

- 海外法人の総数は4年連続で減少、全地域で2年連続減少。
- 拠点の集約が継続する中、マーケティングのみ増加。

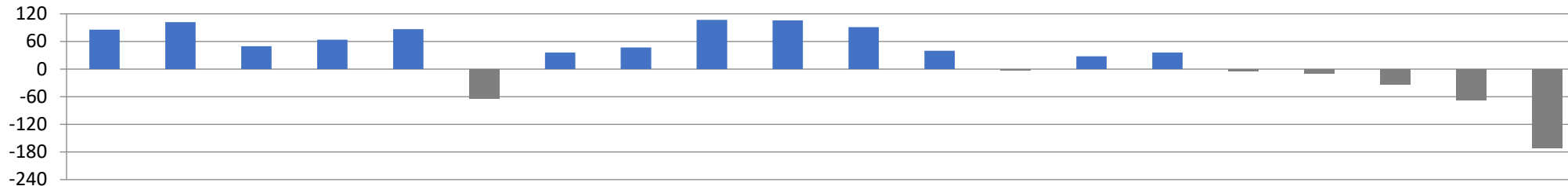
5. 部工会会員の海外生産機能法人（1）生産機能法人数 推移

(法人数)



| 地域 | 対前年増減実数 | 23←22年構成比 |
|------|---------|-----------|
| アセアン | ▲30 | 29%←29% |
| 中国 | ▲37 | 26%←26% |
| インド | ▲11 | 6%←6% |
| 北米 | ▲27 | 20%←20% |
| 欧州 | ▲14 | 10%←10% |
| 南米 | ▲5 | 4%←4% |
| その他 | ▲6 | 6%←6% |

【増減の推移】



- 2018年をピークに5年連続減少、対前年比▲130。全地域で減少が見られたが、地域別の構成比は変化なし。
- 経営環境の変化に対応するため、生産拠点の整理・統合が進んでいると見られる。

5. 部工会会員の海外生産機能法人（1）生産機能法人数 推移

海外生産機能法人 対前年変動数上位国

| | 1998 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
|----|-------------------|---------------------|--------------------------|-----------------------------|-------------------------|------------------------|------------|--|-----------------------------------|-------------------------|---|--|---------|------------|-------------------------------------|--|
| 1 | 中国 (+16) | 中国 (+10) | 中国 (+28) | 中国 (+38) | 中国 (+31) | メキシコ (+16) | メキシコ (+15) | メキシコ (+6) | インドネシア (+8) | 中国 (+13) | インドネシア メキシコ (+5) | フィリピン (+5) | 中国 (+5) | 中国 (+3) | 中国 ▲17 | 中国 ▲37 |
| 2 | 米国 (+14) | インド (+9) | タイ (+10) | インド (+15) | インドネシア (+20) | 中国 (+14) | タイ (+11) | インド インドネシア (+2) | タイ (+6) | タイ ベトナム ブラジル (+3) | ブラジル (+4) | ブラジル (+3) | | フィリピン (+2) | 米国 ▲7 | 米国 ▲23 |
| 3 | インド (+9) | タイ (+7) | インドネシア (+9) | インドネシア (+14) | メキシコ (+15) | インドネシア (+13) | 中国 (+8) | | | | | タイ 英国 (+2) | | | フィリピン ▲6 | タイ ▲15 |
| 4 | インドネシア 韓国 (+4) | インドネシア メキシコ (+3) | ベトナム ドイツ モロッコ (+3) | タイ (+4) | インド (+8) | 米国 (+8) | ベトナム (+5) | | メキシコ フィリピン カンボジア 中国 (+3) | | タイ フランス モロッコ (+3) | | | | ドイツ ▲6 | インドネシア ▲12 |
| 5 | | | | ブラジル (+7) | ベトナム (+6) | ロシア (+6) | 米国 (+4) | | | メキシコ 英国 イタリア (+2) | | インドネシア カナダ スペイン ドイツ イタリア ポルトガル ポーランド トルコ (+1) | | | ロシア ▲4 | インド ▲11 |
| 6 | タイ (+4) | 米国 (+2) | | メキシコ (+6) | タイ (+4) | タイ (+5) | ブラジル (+2) | マレーシア ベトナム ラオス パラグアイ フランス モルドバ (+1) | | | | | | | 韓国 ブラジル 英国 チェコ ポーランド ▲3 | ブラジル フランス ▲5 英国 台湾 メキシコ ▲4 |
| 7 | リーマンショック | | フランス (+2) | ドイツ (+4) | ロシア (+4) | ブラジル (+5) | ロシア (+2) | | | | インド (+2) | | | | | マレーシア ▲3 |
| 8 | | | | マレーシア ベトナム ポーランド (+3) | マレーシア 米国 トルコ (+3) | インド ドイツ チェコ (+4) | | | | | フィリピン コロンビア エルサルバドル パラグアイ セルビア (+1) | | | | | |
| 9 | | 東日本大震災 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | | | |

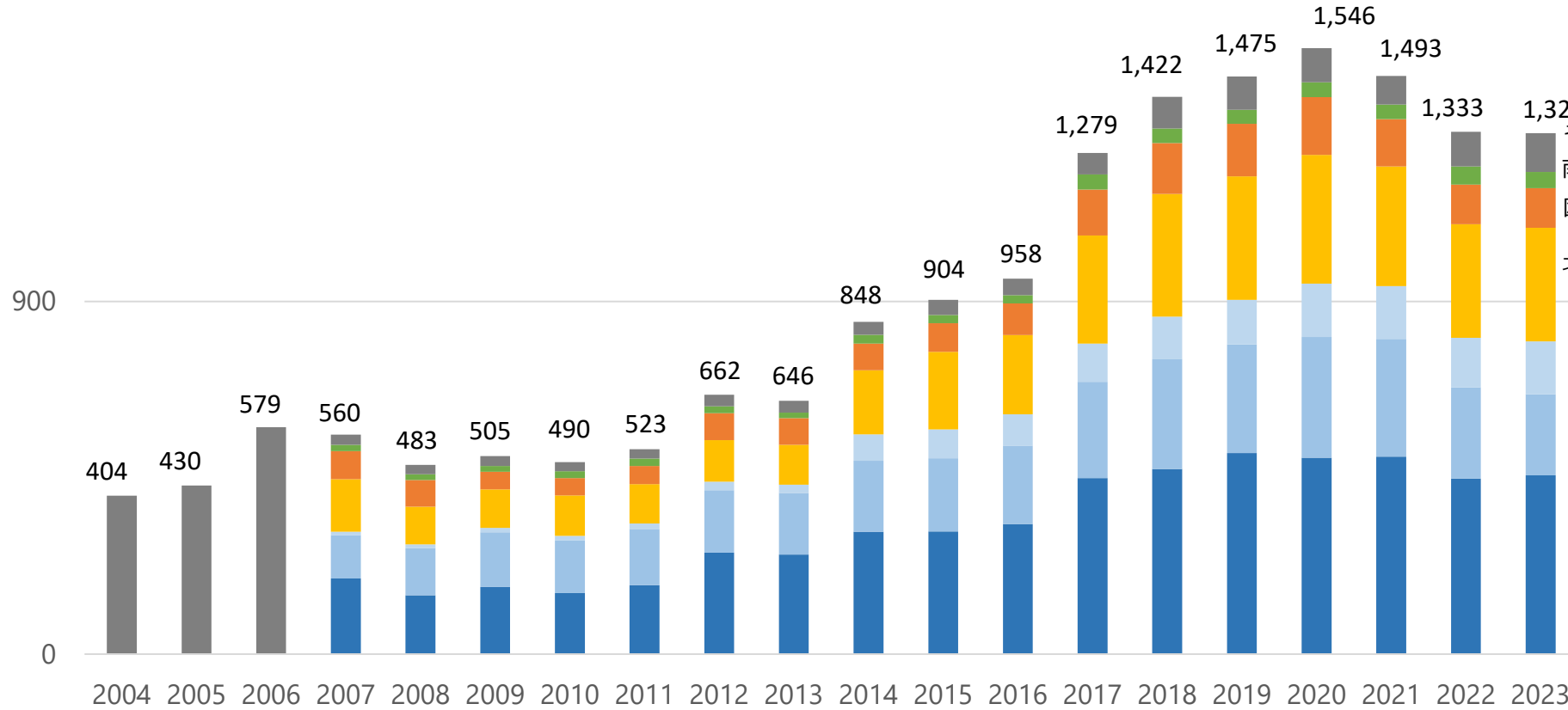
新型コロナウイルス感染症

- 中国：▲37（新規進出+10、既存拠点の統廃合▲47）
- 米国：▲23（新規進出+8、既存拠点の統廃合▲31）

5. 部工会会員の海外生産機能法人（2）雇用者数 推移

(千人)

1800



| 地域 | 対前年増減実数(千人) | 23←22年構成比 |
|------|-------------|-----------|
| アセアン | +8 | 34%←34% |
| 中国 | ▲26 | 16%←17% |
| インド | +9 | 10%←9% |
| 北米 | ±0 | 22%←22% |
| 欧州 | ±0 | 8%←8% |
| 南米 | ▲5 | 3%←3% |
| その他 | +10 | 7%←7% |

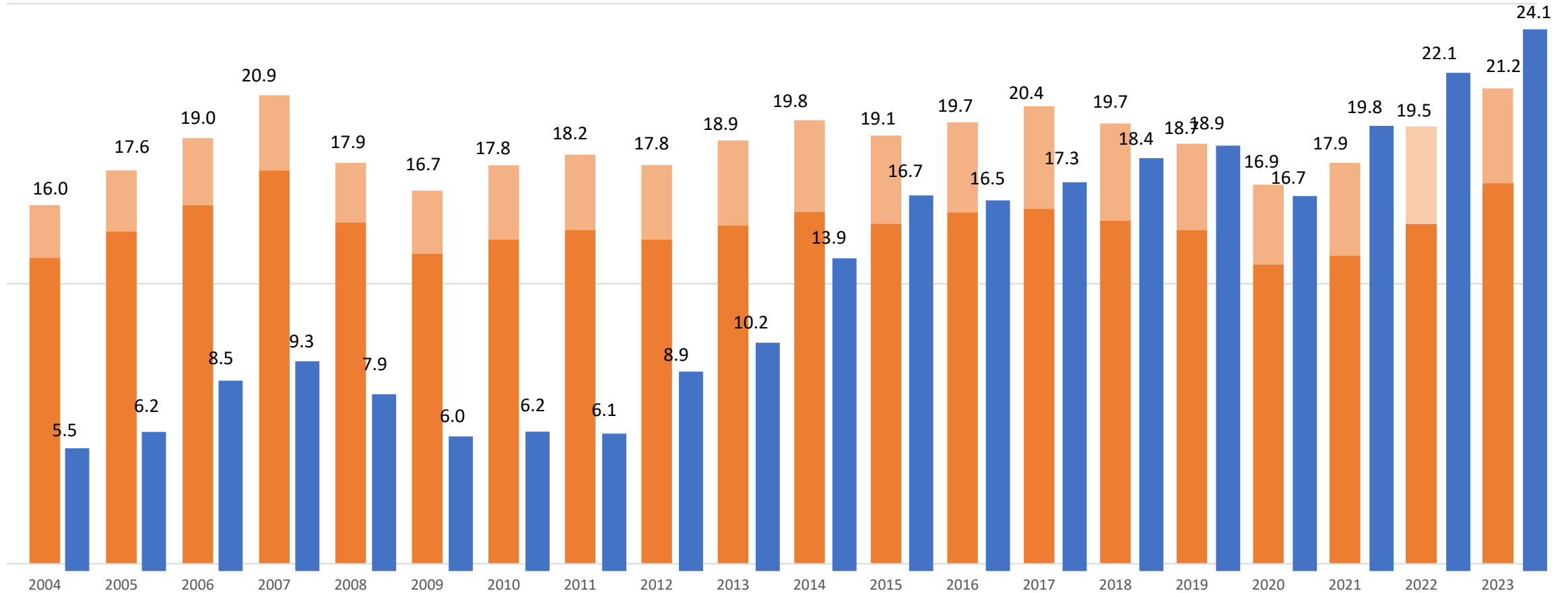
- 海外生産機能法人の雇用者数は、ほぼ横ばい。
- 地域別構成比に大きな変化はないが、中国は23.3万人から20.7万人へ▲11.2%、インドは12.6万人から13.5 万に+7.1%。

5. 部工会会員の海外生産機能法人（3）売上高 推移

(兆円)

海外向 国内向 日本国内の出荷額 海外生産機能法人売上高

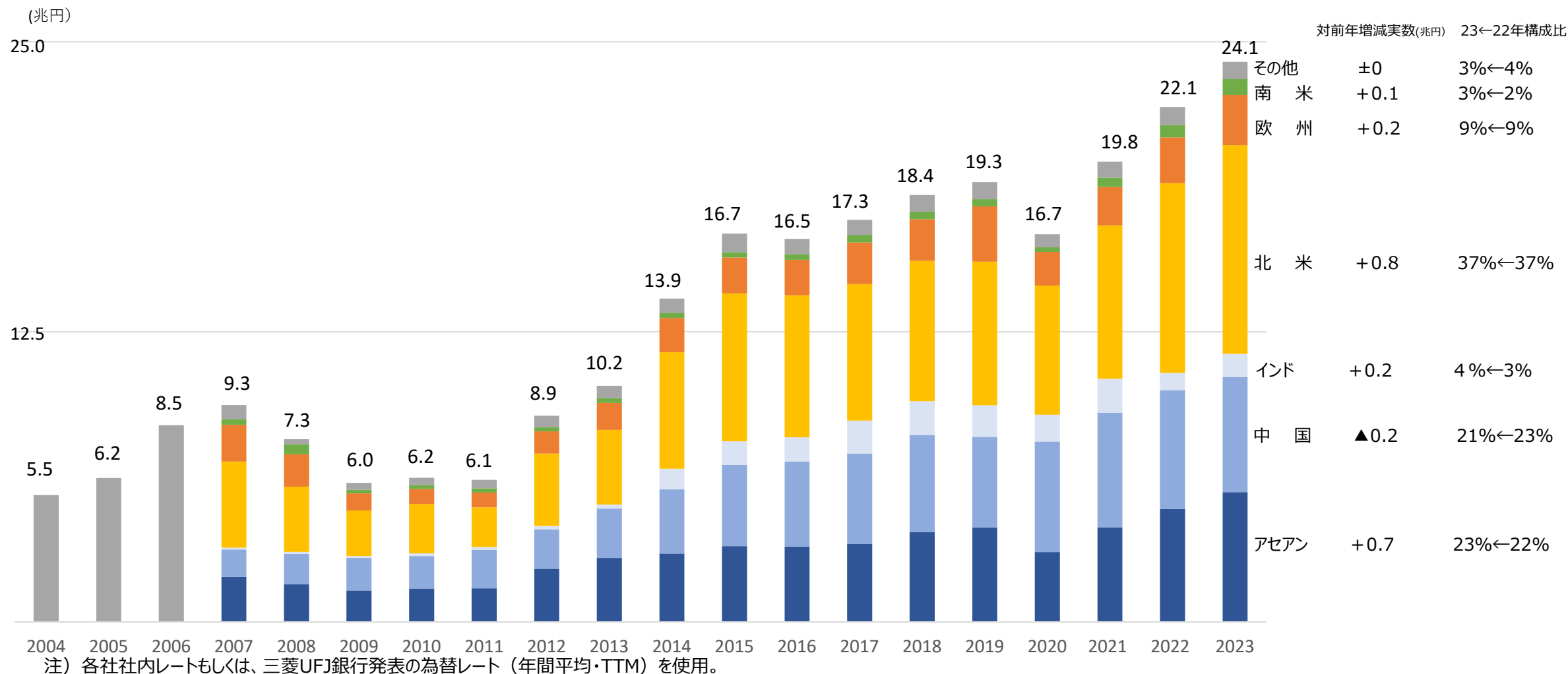
25



注) 各社社内レートもしくは、三菱UFJ銀行発表の為替レート（年間平均・TTM）を使用。

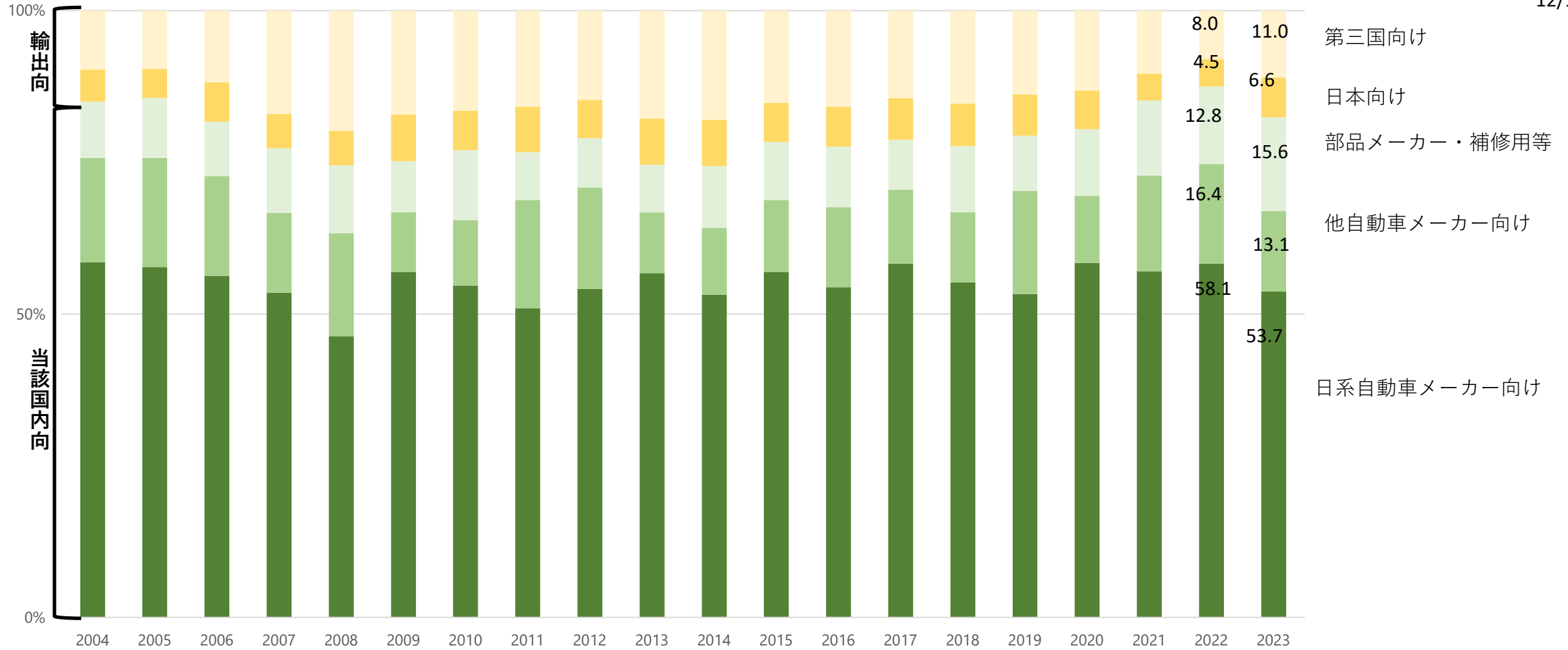
- 海外生産機能法人の売上高は、3年連続で過去最高を更新し24.1兆円。
- 対前年比+2兆円（+9%）、ただし為替の影響が+1.6兆円。

5. 部工会会員の海外生産機能法人（3）売上高 推移



- 売上高は、北米、アセアン、インド、欧州の順で増加。
- 為替の影響を除いた実質の売上増は0.4兆円。アセアン+0.26兆円、インド+0.23兆円、中国▲0.26兆円。

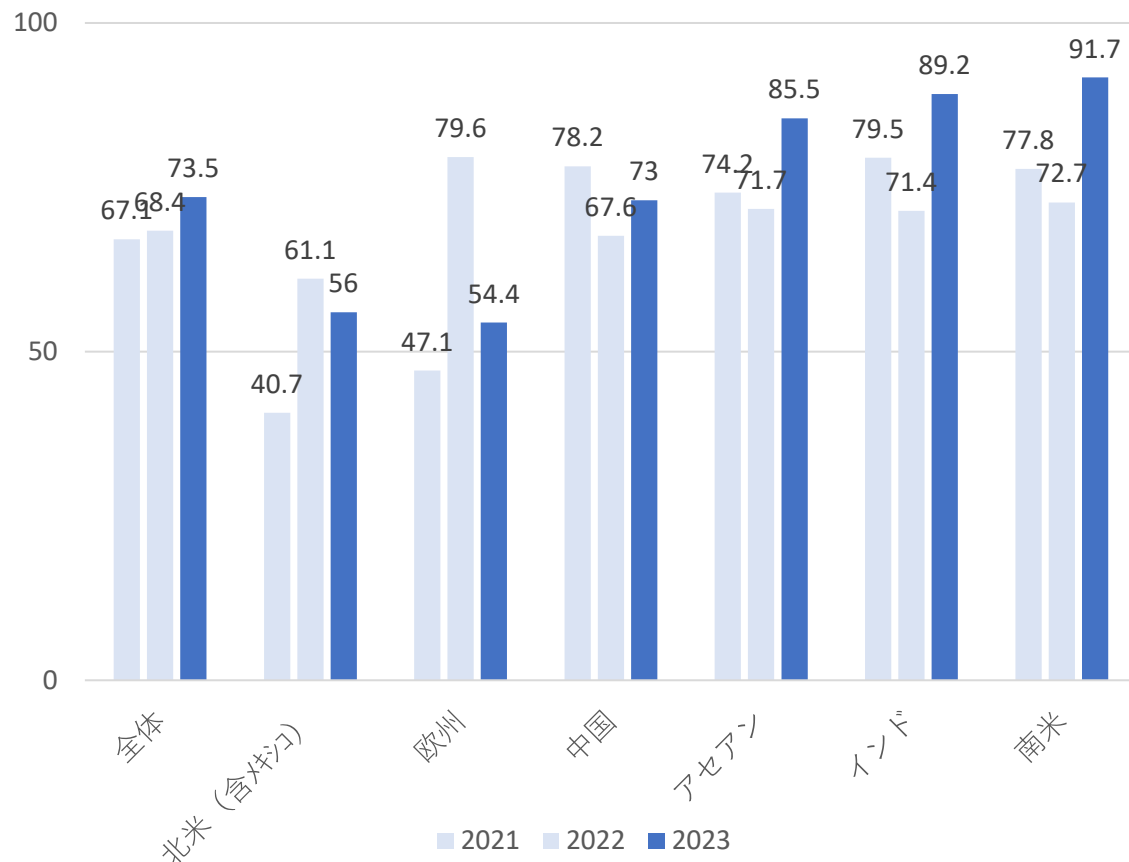
5. 部工会会員の海外生産機能法人（4）売り先別比率



- 当該国外への輸出比率が5ポイント伸びた。
- 当該国内では、部品メーカー向けの比率が拡大。

5. 部工会会員の海外生産機能法人 (5) 単年度黒字法人比率、採算状況「感」

単年度黒字法人比率 推移 (3年間) (有効回答数：777)

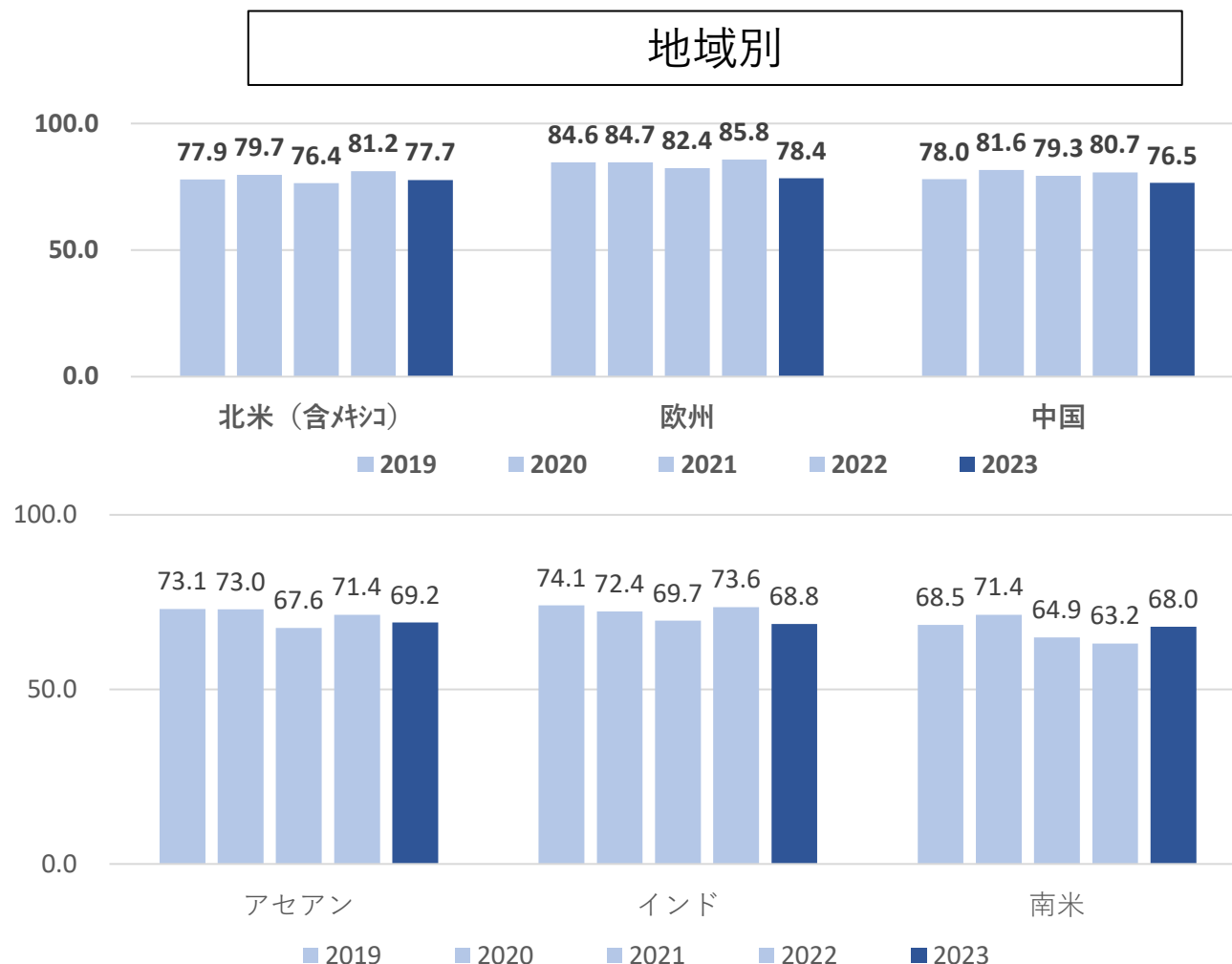
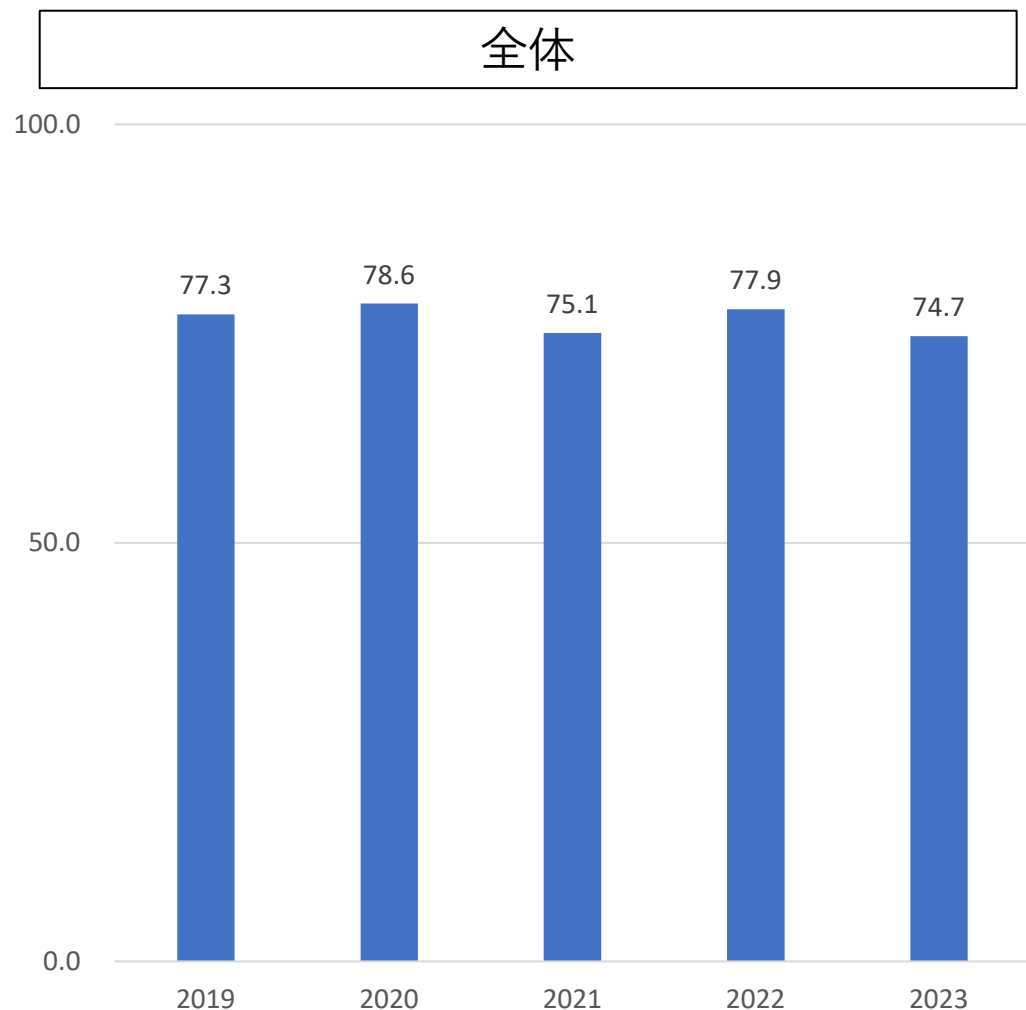


採算状況「感」推移 (有効回答数：746)



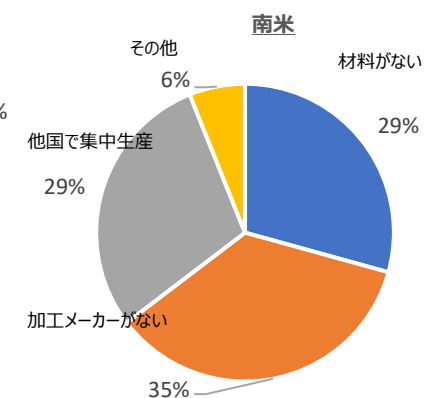
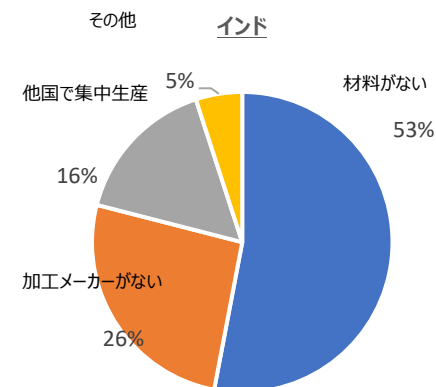
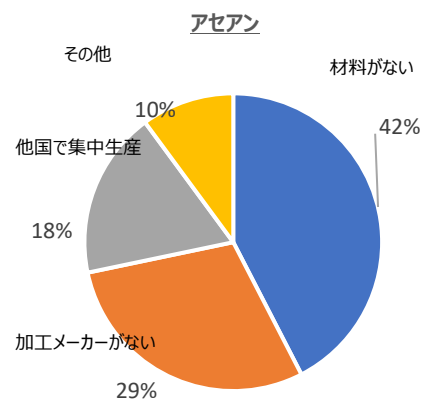
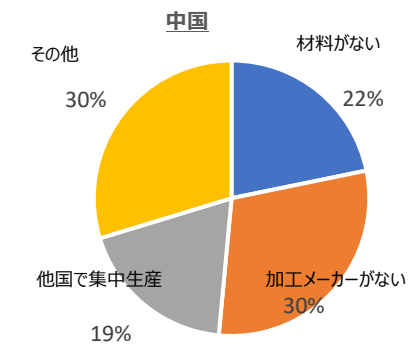
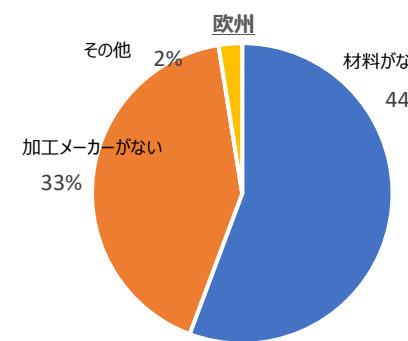
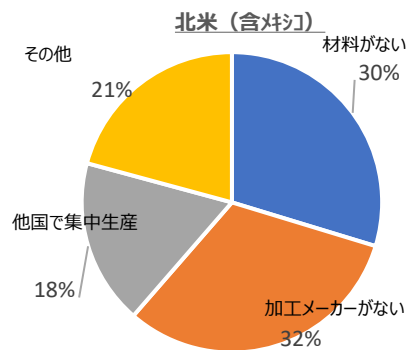
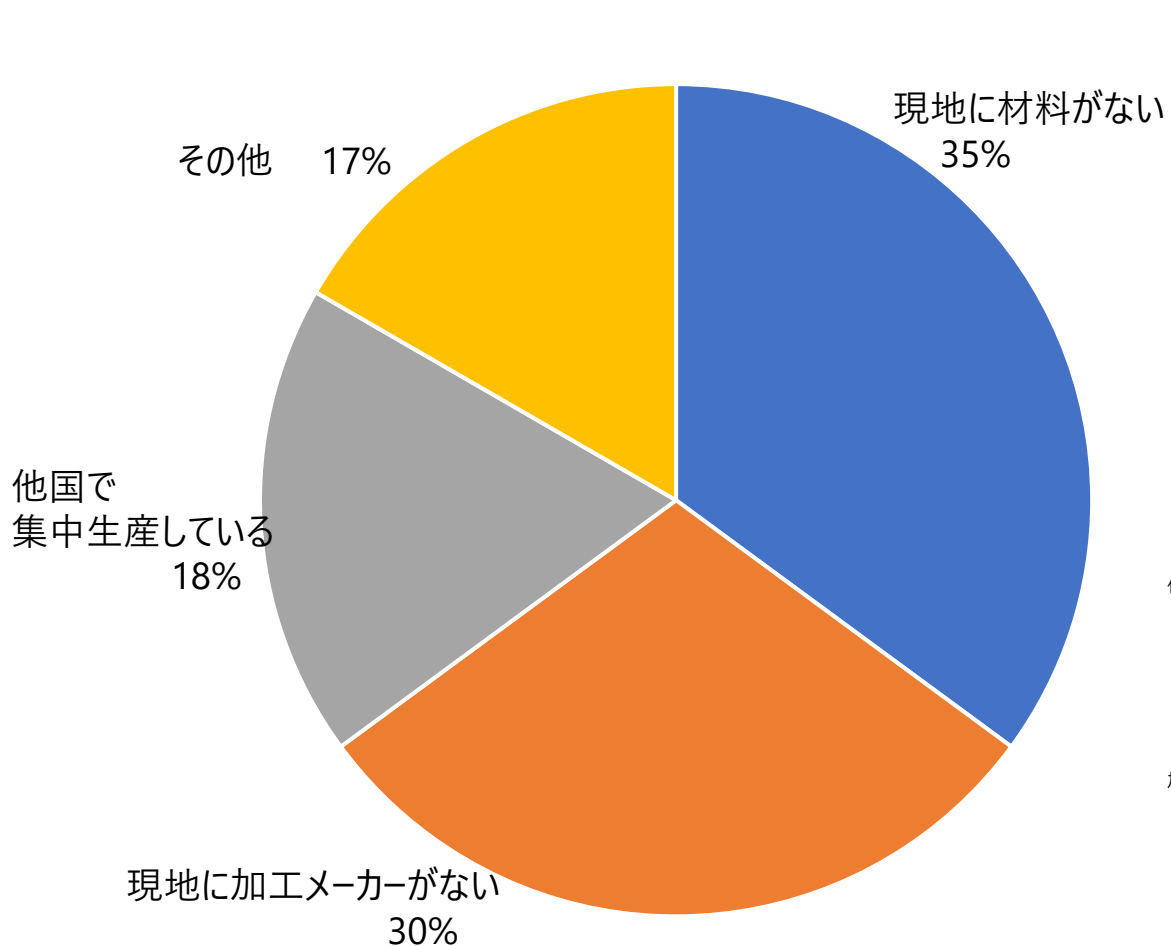
- 単年度黒字法人比率は、アセアン、インド、南米で大きく良化。
- 採算状況感は、中国以外で良化。特に、採算状況感が改善している北米では、新製品の立ち上げや顧客の増産見込み、為替の追い風などのコメントあり。

5. 部工会会員の海外生産機能法人（6）現地調達率



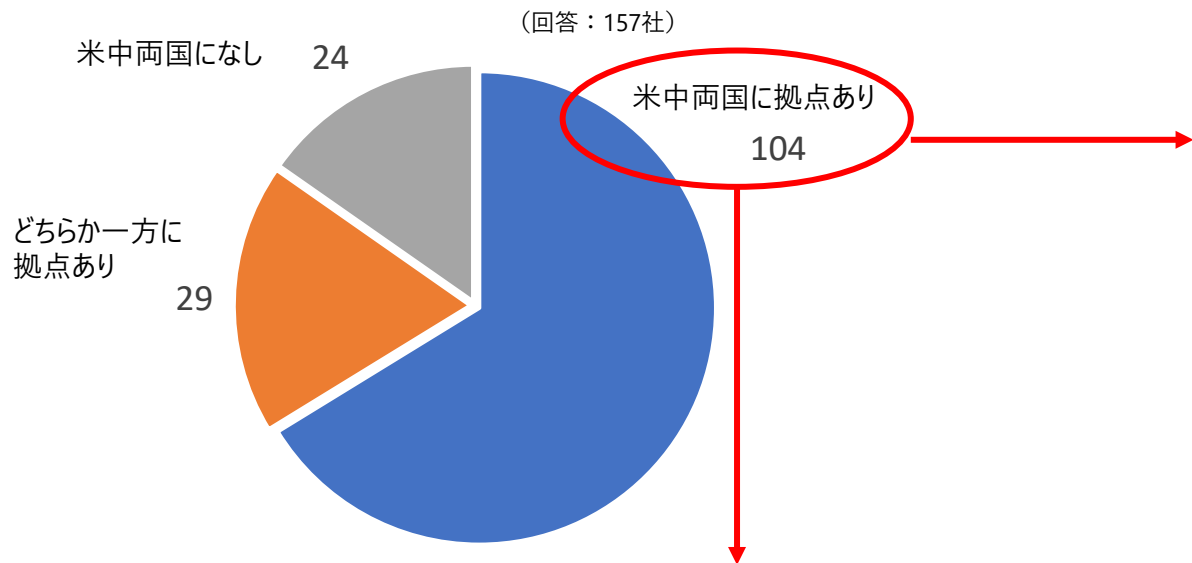
- 現地調達率は、75%前後で推移。
- 地域別で見ても、傾向に大きな変化は見られない。

現地調達が進まない理由 (複数回答可、有効回答数：190)



その他の記述は、品質・コストに問題がある、設備がない、労務費の高騰、輸送の遅れ、為替リスクなど。

米中拠点の有無



米中の事業の切り離し

| | 今回 |
|--------------------|-----|
| 切り離す検討はしていない。 | 86 |
| 既に切り離した | 5 |
| 切り離しを決めた (今後実施を含む) | 5 |
| 切り離さないことに決めた。 | 0 |
| その他 | 8 |
| 合計 | 104 |

経済安保に対応する組織体制の構築

| | 今回 |
|-----------------------------------|-----|
| 従来からの組織のまま、必要に応じて必要な部署間で情報共有している。 | 104 |
| 従来からの組織のまま、対応する部署を決めた。 | 0 |
| 新たな組織体制にすべく検討を進めている。 | 0 |
| 新たな組織を設置し、対応中。 | 0 |
| 合計 | 104 |

< 事業の切り離しを検討しない理由 >

- 元々、米国・中国各々の国で事業が成り立っており、相互関係にない。
- その時々リスクレベルに応じてあらゆる可能性を検討。
- 完全に切り離すことはできないが、一部製品は中国から別の国へ生産拠点を移している。
- 切り離すとまではいかないが、関税アップをリスクを鑑み中国以外からの部品調達推進を検討中

今回の調査で、米中事業を切り離した (今後実施を含む) と回答した企業は10社。昨年調査では別の10社が切り離したと回答しており、事業切り離しを考える企業が増える傾向にある。